

## 指定管理者評価シート

### 一 管理運営の状況

1	施設名	仙台市子育てふれあいプラザ若林
2	指定管理者	せんだいファミリーサポートネットワーク・冒険あそび場せんだいみやぎネットワークグループ
3	指定期間	平成29年10月1日～平成34年3月31日
4	施設の利用状況	<p>《利用者数》 17,467人          内訳 ひろば利用者 16,978人 託児利用者 489人          ※視察等の来館者 72名</p> <p>《事業》          子育てを行う市民に対する交流の場の提供、子育てに関する相談、情報提供等、子育てを総合的に支援する事業</p>
5	収支の状況	<p>《費用》</p> <p style="text-align: right;">( )は前年度決算額</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 指定管理者に支払った費用 11,578千円</li> <li>・ その他市が負担した費用 0千円</li> </ul> <p>《収入》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 使用料収入 1,124千円</li> <li>・ その他収入 65千円</li> </ul>
6	利用者の声	<p>《実施状況》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 意見箱の設置</li> <li>・ イベント開催時に、参加者に対してアンケートを実施</li> </ul>

### 二 管理運営に係る評価

(モニタリングシートの結果によって評価)

評価分野		所見	評価
I	総則	子育てふれあいプラザの設置目的に基づいた基本方針を策定し、掲示等により利用者 に周知している。 利用者アンケートの満足度も総じて高く、子育てを総合的に支援し、子育てが安心して できるまわりの実現に大きく貢献している。	S
II	施設の運営管理体制	各種マニュアルを整備し、事故や災害発生時にも迅速に対応できるよう体制が明確化さ れている。 個人情報保護や情報セキュリティ対策についても、ソフト・ハード両面について適切な取 組がなされている。	S
III	施設・設備の維持管理	乳幼児が利用する施設として求められる安全性等を十分に理解した上で、遊具等が破 損していないか、温度は適切かなど、館内の状況に常に配慮し、利用者が安全かつ快適 に利用できるよう維持管理を行っている。	S
IV	サービスの質の向上	各イベント参加者へのアンケートの実施、利用者懇談会の開催や独自の意見箱の設置 など、意見や要望等を積極的に取り入れ、利用者の視点を立ったサービスの提供を心掛 けている。 職員間においても、業務ごとのマニュアルを整備し、日々のミーティング等で情報共有 を図るなど、サービスの質の向上に取り組んでいる。	S
V	施設固有の基準	子育てふれあいプラザの設置目的と役割を十分に理解し、利用者のニーズを的確に把 握しながら、乳幼児親子の交流の場の提供(ひろば事業)や子育てに係る情報収集、一 時預かり事業、子育てに関する情報収集、提供事業などを適切に実施している。	S

### 三 その他特に評価すべき優れた取組み

(指定管理者の優れた取組みを評価する 加点要素)

評価すべき取組み		取組み状況
1		
2		
3		
加点評価		—

### 四 評価総括

《指定管理者（せんだいファミリーサポートネットワーク・冒険あそび場せんだいみやぎネットワークグループ）による自己評価》
<p>仙台市5区最後ののびすくとして開館。地域の皆様から待ち望まれる声はずいぶん聞こえてきていたが、開館後來館者のほとんどが若林区在住で、「待ってました」「嬉しい」等の多くの声を聞くことができた。</p> <p>解放的なひろばには、月齢や年齢に合わせたおもちゃや、職員手作りのおもちゃを配置、特に手作りおもちゃは子どもたちの遊ぶ様子を見ながら、追加、修理等を行い、おもちゃを通して子どもたちの発達過程を保護者と一緒に共有することができた。週3日、認定NPO法人冒険あそび場-せんだい・みやぎネットワークのプレーリーダーがひろばに入り、親子遊びのヒントを提供、また、外遊びへとつなぐイベントを担当し、ひろばから外遊びへの流れづくりを行った。</p> <p>職員は、ひろばで孤立する親子がいると、寄り添い、親同士を繋ぎ、仲間づくりのサポートを行った。顔見知りも増え、職員に話を聞いて欲しくて来館する母親も多く、相談に繋がるケースもあった。ひろばで職員が受けた相談は、記録を残し、必要に応じて職員間で共有し、誰でも、いつでもフォローできる体制をとった。相談によっては、家庭健康課や専門家につなげたものもあった。</p> <p>イベントは、南小泉児童館と家庭健康課の健診等の予定を考慮して組み立てを行ったため、開催回数は他ののびすくに比べると少なかったが、来館者が講師となったもの、声を反映させたもの等を企画・開催することができた。</p> <p>一時預かりは、問い合わせや事前登録等はあったものの、なかなか預かりまでには至らなかったが、託児室の見学や空き状況がわかるよう表示をし、職員が託児の様子等を話すことで、少しずつではあるが預かりにつながっていった。預かりの前後には、積極的に話をし信頼を得ることで、次の預かりにつながった。預かりから相談になるケースもあった。</p> <p>情報コーナーは、ひろばで遊びながらでも見られるよう、分かりやすい場所に設置。赤ちゃんコーナーでは、0歳児の親向けに特化した情報を掲示し、気軽に手に取れるよう配置した。</p> <p>開館前に心配されていた駐車場問題は、車での来館は多かったものの、ほとんどトラブルはなかった。車での来館が多いため、イベント等で多くの来館が予想されるものは、区役所がお休みの土日に開催したり、他機関とイベント調整をする等、調整を図った。</p>

《施設設置者（仙台市）による評価》	総合評価
<p>仙台市子育てふれあいプラザの指定管理者として培ってきた経験を活かし、保護者一人ひとりの気持ちや状況に丁寧に寄り添うことで子育てに対する不安や負担の軽減に取り組むとともに、海岸公園冒険広場の指定管理者として培ってきたノウハウを活かし、プレーリーダーが屋内外での様々な親子遊びを提案することで親子で遊ぶことの楽しさと大切さを実感する機会を提供するなど、それぞれの強みを効果的に連携させながら、運営に取り組んでいる。</p> <p>また、地域に根差した子育て支援拠点施設としての役割を十分に理解し、子育て支援者との情報交換会の開催や、若林区役所家庭健康課と連携して、地域の保育所や児童館、主任児童委員、子育て支援団体等が参加する「輪っ！かばやし子育て応援団」の運営に携わるなど、積極的に地域の関係機関・団体との連携の充実に努めている。</p>	S

◎ 評価担当課（施設所管課）：子供未来局子育て成部総務課